

たかあき かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ（35歳）
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長



〔谷垣総裁と党本部にて〕

自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党そしてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党 費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。



通信

— 第 2 号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
410-0048 沼津市新宿町 16-5 まるやビル 1-B
電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527
eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の国
(旧韭山・大仁)・賀茂郡・駿東郡(長泉・清水)】

ボランティア大募集 (6区支部まで連絡下さい)
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポ
スター貼りなどなど、楽しい仲間と共に!

自民党 衆議院 静岡県第6選挙区支部支部長
たかあき

かつまた 孝明氏

の「被災地ボランティア報告」

～東日本大震災からの教訓～



津波は「防ぐ」から「避難する」へ!!!

3月11日に東日本を襲った大震災による津波被害の惨状は、東海大地震が予想される私たちの地域にとっても他人事には決して思えませんでした。

海に囲まれた伊豆半島、また沼津市においては県下で最も長い海岸線(約62km)を持っており、今後の津波への対応策を再考していく必要があります。

「ゆたかさ」から「生きぬく」社会へ

国・県・市町とも限られた財源の中で、今後、大規模な防波堤の設置等は、多額の費用と長い期間が必要であり、財源の優先順位と短期的・長期的政策をしっかりと考え、公共事業を推進していく必要があります。

今後、政府・行政・地域コミュニティが早急に取り組むべく津波への対応策は、津波からの避難場所・避難路の確保・周知徹底、そして現場においてリーダーシップをとるための自主防災組織の構築及び強化であります。

まさに、今までの津波への考え「津波の大きさを想定し、防波堤を造り、津波を防ぐ」ことから、これからは「大きな地震で津波がきた場合、素早く避難場所に避難する」ことに意識を変えていかなければなりません。「防ぐ」から「逃げる」です。

官だけではできないことは、民間や地域コミュニティと連携して、将来必ず来る東海大地震から命を守らなければなりません。

岩手県大船渡市・陸前高田市の様子



～大船渡市～

高台にある大船渡中学校から大船渡市の市街地を写す。

津波が押し寄せた地域と高台で津波が来なかった地域との境界がくっきり判る。

津波が押し寄せた地域は木造住宅は根こそぎ持っていかれてしまい、津波がこなかった地域の家屋は瓦一枚落ちていない。

～大船渡市三陸町～

市立越喜来（おきらい）小、目前に海が迫る立地であり、校舎3階まで津波でのみこまれたが生徒71名は全員無事だった。校舎裏の高台に避難するための最短の非常階段を昨年12月に設置。全員が素早く避難した後、黒い津波によって校舎と共に非常階段も大破した。



～陸前高田市～

海岸から平野部が続いており、大船渡市と比較しても高台がないため見渡す限り何もない。鉄筋コンクリートで造られたホテルと、病院が残った。

今後より一層、官だけで避難所を対処するのではなく民間の高層建物との連携が必要不可欠となってくるであろう。

